

若者の集まる施設内で市街地広報を実施



学生に募集ティッシュを渡す広報官

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村一空尉）は、2月24日（土）「フレドラP&D佐野」にて市街地広報を実施した。

「フレドラP&D佐野」とは、イオンモール佐野新都市と、佐野プレミアムアウトレットの間にある施設で、1階にアミューズメントやゲームセンター、2階に映画館があり、市街地広報は1階のロビーで行った。

当日は三連休の真つ只中で風もなく快晴だったこともあり、多くの親子連れや学生たちが施設を利用していた。自衛官募集ティッシュを配布していると、中に入っているちらしを見ながら「自衛隊？珍しいですね」「自衛隊の事務所が足利駅近くにあるなんて知りませんでした」と話す人がいるなど、自衛隊について多くの若者にPRすることが出来た。また、フェドラの職員の方も様子を見に来てくださり、自衛隊に対して好印象を得ることが出来た。

足利地域事務所は「今後も、市民と関わる機会に自衛隊が身近な存在であること、また新しく協力してくださる方々との交流を深めていきたい」としている。



自衛隊について説明する広報官

第2回きよとこ清原マルシェで広報展 ～地域に寄り添った広報活動～



制服試着の様子

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 大橋2陸尉）は、2月25日（日）宇都宮市清原中央公園で開催された、きよとこ清原マルシェにおいて広報展を実施した。

清原マルシェは、宇都宮市清原地域振興協議会主催で令和5年8月に開業した宇都宮駅東口から芳野・高根工業団地を結ぶ、次世代型路面電車（LRT）沿線の交流促進と地域の魅力発信を目的としたイベントで、自衛隊が参加するのは初めてであった。イベントでは、タペストリー展示・制服試着・組み紐教室及び1/2トラック装備品展示を行い大勢の来場者で賑わった。友人同士ではしゃぎながら制服試着を楽しんだり、親子連れが1/2トラックの前でポーズをとり写真撮影をする姿が見受けられた。

組み紐教室に参加した親子連れから「元旦に発生した能登地震で自衛隊の有難さを改めて実感しました」「元自衛官芸人やす子さんのお話を聞いて自衛隊に詳しくなりました」といった話があった。

宇都宮募集案内所は、「今後も、各自治体と連携しながら地域に密着したイベントに参加し、国民が必要としている災害対応を担う自衛隊への理解と関心を高めてもらえるよう、部員一丸となって募集広報活動に邁進していく」としている。



組み紐教室の様子

進路ガイダンス in 地場産業振興センター



ガイダンスの様子（説明を行う坂本2陸曹）

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村一空尉）は、2月26日（月）足利市にある栃木県南地域地場産業振興センター大ホールで実施された「進路ガイダンス」に参加した。

「進路ガイダンス」は、足利市内の高等学校の希望者を対象に色々な大学・専門学校・企業などのブースが出店し、講話を聴講する形式で行われている。今回は、足利市内にある成美学園高等学校の1・2学年生及び足利南高等学校の1学年の希望者を中心に、一般公開も合わせて合計で240名の生徒（保護者も含む）が参加した。

自衛隊のブースには、1学年の生徒7名（男性5名、女性2名）が参加し、自衛隊の概要、どんなコース・種目があるのか、基地での生活の様子、実際に経験したことなどの説明が行われたのち、質疑応答を行った。質問の中には「自衛官になる為に高校生活で準備しておくべきことはありますか？」「試験受けるにあたって、何を勉強すればいいですか？」などの積極的な質問が飛び交い、休日がとれることや近場の基地や駐屯地をあげると「意外でした！休日がそんなにあることや近くに駐屯地があることを知りませんでした」と驚き、自衛隊について前向きなイメージが変わっていた様子であった。

足利地域事務所は「今後も、自衛隊に興味をもってもらえる機会を大切にし、自衛隊が身近な存在であることを伝えて生きたい」としている。